



令和7年度 一般選抜入学試験 個別学力試験 出題意図

(フランス語)

前期日程

大問 1

・ 出題意図

本問題は、中級レベルのフランス語で書かれた文章を正確に読み取ることができるかどうかを見る問題です。問題文はフランスの著名な作家マルク・レヴィが 2019 年に発表した小説の冒頭部分で、幼い息子の質問をきっかけに父親であるとはどういうことかを語っています。全体としてやや口語調でありながらも息の長い文も含まれていて、少し歯ごたえのあるフランス語だと言えるでしょう。読解にあたって重要な点は、構文を正確に捉えること、そして発話の意図や文脈を正しく理解することです。これが伝われば、日本語訳が多少ごちなくとも十分に評価されるでしょう。

大問 2

・ 出題意図

本問題も、中級レベルの平易なフランス語で書かれた文章の読解力が要求されますが、大問 1 とは異なり、すべてを正確に読み解くのではなく、長めの文章の要点を正しく捉える能力が求められています。今回は、いわゆるコンピュータゲームが本当に有害といえるかどうかを論じる、科学的な題材を扱った文章を取り上げました。見慣れない単語があったとしても、論旨の要となる個所を正確に見極め、それを確実に把握することが重要です。その上で、150 字という制限内でポイントを理解したことを示すことができれば、十分に評価されるでしょう。

大問 3

・ 出題意図

身近なテーマを題材として、フランス語で自分自身の考えを的確に表現することができるかどうかを問う問題です。与えられたテーマに合致した文章を書いているかどうか、法や時制、性数の一致など文法的に正確な文章を書いているか、文と文が有機的に結びつけられているか、といった点が評価の基準となります。

○志願者へのメッセージ

大問 1 と大問 2 は、基礎的な語彙レベルで書かれた文章を正しく読むこと、または要約することが主眼です。当然ながら、基本的な単語や熟語の習得と文法運用能力の上達が必要となります。解答の作成には相応の日本語の文章力も要求されますが、フランス語の内容が理解できていることが分かればいいので、名訳・名文である必要はありません。

大問 3 の仏作文は、指定された語数が 150 語程度となっており、ある程度の計画性・構想力が必要となっています。提示された条件に合わせてどのような内容を盛り込み、どのような構成で書くのかを最初に俯瞰的に考えて、簡単なプランを立ててから書いてみるのも効果的だと思います。また、この問題で試される語学能力はかなり高度なものであるため、短く簡単に構わないので、普段からフランス語で文章を書く習慣をつけてください。